

3 道徳の時間（本時）と他の教育活動との関連

<場の内容・ねらい>

<児童の意識>

<指導・援助>

<p>教科等 生活科（5月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アサガオやミニトマトの観察を通して、自分が世話をして成長する喜びを実感する。 ・栽培するのにどんなことが大切かを知る。 	<p>【日常の活動】 ○登校時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活科で取り組んでいるアサガオやミニトマトに、毎朝登校したら自分で水を毎日やる体験をする。忘れると土が乾いてしまうこと、すぐに遊びに行けないことなど、植物を育てる厳しさや苦勞を味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・早く遊びに行きたい。水を毎日やるのは面倒だ。でも、水をやらないと枯れてしまう。育てるのは大変だ。 ・「アサガオさんミニトマトさん、おはよう」「大きくなるんだよ」と声をかけた。自分が育てているアサガオやミニトマトをもっと大切にしたい。 ・ミニトマトのつるが、1週間前よりもこんなに伸びた。どんどん大きくなっている。うれしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日水をやることのたいへんさに共感しながら、成長の変化に目を向けさせていく。「ほら、見てごらん。ここにも小さな葉っぱがあるよ。」 ・児童の話しかける言葉に耳を傾け、一緒になって植物の成長を願う声をかける。 ・成長している様子を児童と共に観察して喜び合い、毎日の水やりの取組を価値付ける。
<p>生活科（6月） 「くさばなやむしをさがそう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園で春や夏の草花、昆虫を見付け、遊ぶ。 	<p>帰りの会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わたしたちの道徳」の「生きものにやさしく」（P.102）を記入し生き物を育てたことを思い出し、世話をしようとする意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな花や生き物を見付けたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より広い視野で自然観察ができるように季節に合わせて見つけてほしいものを明確にし、楽しく活動できるように指導・援助をする。
<p>道徳の時間（7月） 「資料名」『ありとあぶらむし』 内容項目 3-(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりの動植物に興味・関心をもって調べたり、触れ合ったりすることで、不思議さやおもしろさに気付き、生き物には優しく接し、大切に育てようとする心情を育てる。 	<p>帰りの会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動植物に優しい心で接し、大切に育てた具体的な活動やその時に気持ちについて日記に書いたり、友だちに話したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ありやあぶらむし等、どんな生き物でも、私たちと同じように生きているのだから、生き物を大切に育てたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・やすしのありやあぶらむしへの関わりを通して、生き物は人間と同じように生きているのだという思いを味わわせる。
<p>国語（9月） 「みいつけた」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だんごむしやせみなど、文章の内容と自分の経験と結び付けながら読み、思ったことや考えたことを発表する。 	<p>帰りの会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動植物に優しい心で接し、大切に育てた具体的な活動やその時に気持ちについて日記に書いたり、友だちに話したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「のどは乾いていないかな」「お腹はもういっぱいかな」などと、動植物のことをよく考えよう。 ・私も～さんみたいに生き物の気持ちになって世話をしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活での取組や児童の日記から、動植物のことを思い大切に育てる行為や意識を具体的に捉え、「命を大切に作る心」とつなげて朝の会や帰りの会で価値付ける。

